

Small Talk台本①（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。6年はペアで伝え合うことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく**本当の気持ち・本当の出来事**を話す。

話題1 先生の朝（第2時）

板書：What time do you get up? I usually get up at ~. [黒板の時計を 6:30 に合わせる]

T Good morning! What time do you get up? Me? I usually get up at six thirty.

おはよう！みんなは何時に起きる？先生？たいてい6時半に起きます。

T Then I wash my face. And I eat breakfast. (ジェスチャー)

それから顔を洗って、朝ごはんを食べます。

T But on Sundays... I sometimes get up at nine! Shh!

でも日曜日は…ときどき9時に起きます！ないしょね。（笑いが起きたら成功）

T How about you? What time do you get up? Pair talk!

みんなは？何時に起きる？ペアで話してみよう。（1～2分×2回・相手を替えて）

S I get up at six. / Six thirty!

（数字だけでもOK。時計を指させたらそれでも成立）

つまった子への助け舟：ことばが出ない子には黒板の時計を見せて Six? Or seven? と2択で。指で示せたら That's early! と受けて成立させる。

話題2 先生がときどきすること（第4時）

板書：always/usually/sometimes/never の4段を黒板の左から並べて貼る

T Look. Four words. Always, usually, sometimes, never. (指で4本の柱を示す)

見て。4つのことば。いつも・たいてい・ときどき・まったくしない。

T I always brush my teeth. Always! Every day!

先生はいつも歯をみがきます。毎日ぜったい！

T But I sometimes wash the dishes. Sorry, only sometimes.

でも皿洗いは…ときどきです。ごめんなさい、ときどきだけ。

T And I never play games. Never! How about you?

そしてゲームはまったくしません。みんなは？

S I always play games! / I sometimes read a book.

（1つ言えれば十分。ことばが出なければ4段のどれかを指させる）

つまった子への助け舟：4段の掲示を指さして「どれ？」と選ばせる。指さしだけでも意思表示として成立させ、先生が Sometimes! と言い直して返す。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

1回目のあとに全体で：「あいての時こくを聞いて Really? / Me, too! / So early! を返せた人？」→ 聞き取れなかったときの One more time, please. と、もう一步ふみこむ Always? のどちらか1つを選んで全員で練習→2回目へ。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・6年のSmall Talkはペアで伝え合うのが中心。先生の話は1分で切り上げ、ペアの時間を確保する
- ・時刻は板書の数字（6:30）と口の音（six thirty）を必ずセットで。数字は読めても言えない子が多い
- ・起きる時刻の早い遅いを価値づけない。話題は「いつ」であって「よい生活習慣かどうか」ではない